



# 奥能登国際芸術祭 2017 珠洲 / 作品 No.38 炙り Bar

POP UP

## Aburi-Bar

スケジュール ●9/9 土 15:00-16:00 蛸島 鍵主工業前 ●9/10 日 10:30-12:00 作品No.02 サザエハウス (赤神の小屋) 周辺  
●9/23 土 18:00-19:00 禄剛埼灯台周辺 ●9/24 日 10:30-15:00 見付園地野営場  
●10/7 土 14:00-15:00 作品No.01 時を運ぶ船 (旧清水保育所) 周辺 ●10/8 日 10:00-12:00 ラポルトすず周辺

奥能登珠洲の美しい風景やアート作品の近くに、炙り Bar が出現。  
珠洲の地で作られ続けてきた珪藻土コンロ、そこに炭焼きを生業とする職人が手がけた炭に火を熾し、日替わりのマスターがお待ちしています。  
マスターは、珪藻土コンロや炭を語る地域の人たち。  
炙りものを片手に、炭火で炙りながら、ほっと一息立ち話。  
珠洲のコト、人を知れば、芸術祭の愉しみが深まります。

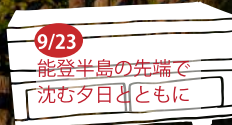
各地点の見所



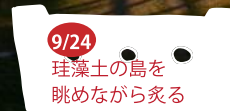
9/9  
珪藻土コンロが並ぶ資料館で初炙り



9/10  
サザエハウスでサザエを炙る!



9/23  
能登半島の先端で沈む夕日とともに



9/24  
珪藻土の島を眺めながら炙る



10/7  
海が見渡せる旧保育園前で



10/8  
珠洲景まつりも楽しむ

※詳しい情報は、Noto Aburi Project の Facebook、Twitter、Instagram をチェック!

Photo Tetsu Kaginushi





# POP UP Aburi-Bar が やってきた!



能登の人々が  
Bar マスターに



能登のまいもん

持ち込み歓迎  
販売もあり

## 能登の風景や Art 作品



能登の魅力が一つになる場。突然現れて去りゆく、  
ここでしか味わえない一期一会を、五感を研ぎ澄ませてお楽しみください。

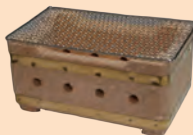
## 珪藻土コンロのつくり手

能登半島の土壌の 4 分の 3 は珪藻土。珠洲市の埋蔵量は能登半島全体の 9 割を占め、日本一を誇ります。珠洲市には 4 社が珪藻土コンロを製造しており、「切り出し」、「練り」、「貼り合わせ（珪藻土断熱レンガ使用）」の 3 つの製法でつくられています。その違いもぜひ感じてみてください。



### (株) 鍵主工業

珠洲市蛸島町 1-2-146-1  
<http://7rin.biz>



### 能登ダイヤ工業 (株)

珠洲市三崎町雲津△ 37  
<http://www.notodaiya.com/>



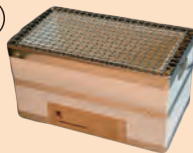
### (有) 丸和工業

珠洲市正院町平床立野部 26  
<http://www.suzu.co.jp/maruwa/>



### 能登燃焼器工業 (株)

珠洲市上戸町寺社 26-2  
<http://www.suzu.co.jp/notonensyouki/>



## 炭について

石川県内唯一の専門製炭工場である大野製炭工場。炭焼き職人・大野長一郎さんがつくる黒炭は品質の良さが自慢で、火付きがよく、火力が強く、そして火持ちが良いのが特徴です。平成 16 年からクヌギの植林を始め、荒廃した里山を炭焼きにより再生し、持続可能な環境を目指しています。**大野製炭工場** 珠洲市東山中町赤部 2 <http://www.notohahaso.com>



## NAP Noto Aburi Project とは?

「丸の内朝大学 地域プロデューサークラス能登編」から生まれたプロジェクト。珠洲市が誇る珪藻土コンロと手づくりの炭が生み出す「炙り」の楽しさ、そして能登の魅力を、市内外のメンバーが伝えています。炙りは日本にしかない食文化。炭火を中心に人が集う。食卓が美味しく、楽しくなる。そんな炙りが生み出す時間・空間を、一緒に味わいませんか。



HP



Facebook



Instagram



Twitter

最新情報は  
こちら